



埼玉県議会 / 無所属刷新の会

(桶川市・伊奈町)

埼玉県議会議員

小野 克典

県政報告レポート

vol. 5

平成 20 年 2 月 発行

埼玉県議会

無所属刷新の会

(桶川・伊奈支部)

小野克典事務所

〒363-0008

桶川市坂田 652-1

TEL048-729-1666

FAX048-728-1151

《ホームページ》 <http://homepage1.nifty.com/ono-katsu/>

討議資料

2009 年激動の時代、今年もご支援のほどよろしくお願いいたします。

厳しい時代、ピンチをチャンスに変える 新しい国のかたちの再構築を目指して

激動の中で迎えた平成 21 年、今年も政治・経済をはじめ、医療・福祉・環境・教育・外交防衛等々、様々な分野においてこの国の制度や仕組みを再構築すべく、新たな変革のスタートの年になるのではないかと思います。

例えば食の安全確保や地産地消の推進、食料自給率の向上などを実現するためには、今こそこの国の農業政策の大転換が必要ですし、そのためには、減反政策の見直しや、見直すべき規制やルールを見直し、農業が事業として成り立つようなシステムを再構築することが必要だと思います。

また、昨年も振り込め詐欺などの犯罪も後を絶ちませんでした。犯行グループの多くは 20 代や 30 代といった若い人たちで、中には 10 代の少年までいたりして、被害者の多くが高齢者という、大変憂慮すべき事態であります。人の良さにつけこみ、自分さえよければ、相手はどうなってもいいといった考えや、楽しんで手取り早く人をだましてでもお金を稼ごうといった犯罪が多くなっているように感じます。↑

こうした状況をみますと、教育の見直し、再構築の必要性を感じるようになります。道徳教育の推進をはじめ、また、例えば、柔道・剣道・空手など種目を問わず、武道教育などを学校でも小さいうちから取り入れるなどして、自分自身の気持ちを律すると同時に、相手の痛みをわかることのできる訓練をすることも必要かと思えます。同時に私もそうですが、私たち若い世代の親に対する、親として学ぶべきことをしっかりと学ぶ「親学」の推進も、不可欠であるかと思うところです。

今年も様々な分野で、この国の基礎を立て直すいろいろな意味での元年となるかと思いますが、そうした中で 1 月 23 日に、大阪の町工場の人たちが集ってつくった気象観測衛星等の公募型衛星を搭載した H-2A ロケットが、打ち上げに成功するなど新年早々、明るい話題もありました。ものづくりにおける日本人の緻密で精巧なすばらしい技術の高さを感じると同時に、ものづくりの大切さをあらためて考えさせられました。

今年も、県議会議員として、桶川市・伊奈町と埼玉県を結ぶパイプ役としてしっかりと働かせていただきたく存じますので、今後ともご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

2 月定例議会は 2 月 23 日（月）から開催される予定です

次回開催の 2 月定例議会において、小野克典は予算特別委員として、平成 21 年度予算案に対する質疑を行います。県財政も減収が見込まれる中、大変厳しい財政状況ではありますが、いろいろな視点から将来の県政発展につながる展望や、桶川・伊奈の地元における課題などについて質疑いたしたく思いますので、皆様からのご意見・ご提言などございましたらお気軽にお寄せ下さい。

桶川市：県道川越栗橋線の整備状況について

現在、圏央道の開通に伴い、県道川越栗橋線の整備が進められております。一部 4 車線開通しているところもございますが、所々で 2 車線となり市民の皆様から、通りづらい等の苦言を頂いております。

平成 24 年の圏央道県内全線開通時には加納の（仮称）桶川 I.C.から川田谷の上尾道路までの区間は全面的に 4 車線開通する予定ですが、それまでの間の 2 車線から 4 車線への開通状況については現在のところ、以下の予定となっております。

- ・（仮称）桶川 I.C.～西八、八雲神社のあたりまで（平成 24 年度中）
- ・八雲神社あたりから西八、べにばな陸橋降りたはなみずき通り先付近まで（今年の 3 月中）
- ・はなみずき通り付近から西八、日出谷のヨークマート付近までの約 1 km 区間（平成 24 年度中）
- ・消防署西分署付近から西八、上尾道路まで（今年の夏ころ）

現在のところ、以上のような予定となっておりますが、21 年度中の川田谷の（仮称）桶川 J.C.（暫定 I.C.）が開通することになると、県道川越栗橋線に流入する交通量は大変多くなり、一部 2 車線区間があるところでは、流れが詰まって渋滞することも予想されます。県の方へも、できる限り早期の整備と、交通安全対策については、状況を見ながら必要があれば迅速かつ積極的に取り組んでもらうよう要望いたしました。

伊奈町：県立がんセンター施設整備について

県立がんセンター施設整備検討委員会（委員長：吉原忠男氏・埼玉県医師会会長）の報告書が昨年 11 月にとりまとめられ、県に提出されました。

施設整備における基本方針としては、①「高度先進がん医療を実施する病院」として、高度先進がん医療の強化・チーム医療体制の確立・研究機能の充実を図ることとし、また、②「患者・地域と手をつなぐ病院」として、やすらぎと安心安全医療の提供・がん診療連携拠点病院としての機能の充実・地球環境対策への先進的な取り組みを行うこととなっております。

病床規模は 440～460 床程度必要とし、手術室の増室、HCU（ハイケア病床）の新設、外来診察室の増室、PET-CT（ポジトロン断層撮影装置）の導入なども整備の重点項目としてあげられています。

また、患者に「がんの苦痛を忘れさせる」療養環境を提供するとともに、院内スタッフが患者に対し質の高い適切な医療サービスを提供できるような働きやすい環境整備や、「楽しさを演出する空間」づくりや、地球温暖化防止対策において先進的な施設を目指すこととなっております。

スケジュール案としては、新たな土地利用計画、整備事業手法を踏まえると新館オープンは平成 27 年度を予定しております。

「桶川飛行学校」の署名のご協力に感謝申し上げます

昨年来皆様をお願いしておりました「旧陸軍熊谷飛行学校桶川分教場」の遺構保存を求める署名も新聞等でも報道されましたが、1 万 3 千名を超える署名が市内を問わず全国から寄せられました。ご協力いただきました皆様に対し心より厚く御礼申し上げます。本年 2 月に市と県に提出する予定です。今後も引き続き「桶川飛行学校を語り継ぐ会」の活動に対し、ご支援・ご協力賜りますようお願いいたします。



県議会英霊にこたえる議員連盟会長の吉田弘前議長と
滝瀬副次県議・島田正一県会副議長も視察されました